

令和元年度リーダー研修会（ファーストステップ研修講師養成研修会）
開催要綱

- 1 趣 旨 介護福祉士の資質の向上が求められる今、「ファーストステップ研修会」の必要性が高まっております。「ファーストステップ研修会」を広く実施するためには講師の養成が不可欠になり、その基本となる講師の要件としては介護福祉士のリーダーが望ましいと考えられます。
- 公益社団法人日本介護福祉士会は研修体系が確立されるよう介護福祉士の教育水準の向上と後継者育成を担っていくリーダーを養成することを目的とし、研修会を開催します。
- 2 主 催 公益社団法人日本介護福祉士会
- 3 後 援 公益財団法人社会福祉振興・試験センター
- 4 期 日 令和2年2月1日（土） 2日（日） 3日（月）（3日間）
- 5 会 場 日本介護福祉士会 7階会議室
- 6 参加対象 リーダー研修会（前期）（講師養成特別講座）を受講もしくは、今年度リーダー研修（前期）（講師養成特別講座）の受講を予定しており、以下の①から③のいずれかを満たす者とする。
- ①過去にファーストステップ研修を1領域でも受講した経験を持つ者、又は現在受講している者。
 - ②過去にファーストステップ研修の講師又は助言者として1科目以上教授した経験を持つ者。
 - ③過去に都道府県または行政の主催する研修会・講習会等において講師を務めた経験を持つ者。
- 7 参加定員 20名（定員になり次第、締め切りとさせていただきます）
- 8 参加費用 会員 : 20,000円
非会員 : 30,000円（ともに資料代、修了証発行代を含む）
※研修の3日前からキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。
※研修券をご使用になる場合は、申込書にご使用になる金額をご記入のうえ、申込書に同封してください。
※昼食、ご宿泊はご自身にて手配してください。
- 9 プログラム 別紙参照（ただし、各科目の内容に関する説明はございませんので、事前に「ファーストステップ研修ガイドライン」等をお読みいただいたうえでご参加ください。）

- 10 事前課題 ①別紙様式①を用いて、ファーストステップ研修の1科目について授業案を作成し、研修申込書と併せてご提出ください。(記入にあたっては記載留意事項を参照すること。)
- ②「ファーストステップ研修ガイドライン」を読んでいない方は、研修前に必ず読んでいただくようお願いいたします。お持ちでない方は日本介護福祉士会ホームページからダウンロードできます。(研修情報をクリックすると一番下にPDFがあります)当日の研修会にもご持参ください。
- 11 申し込み 申込書に必要事項をご記入の上、日本介護福祉士会へお申し込み下さい。
令和元年12月20日(金)締切
※受講決定者には、日本介護福祉士会より受講決定通知を発送させていただきます。
- 12 問合せ先 公益社団法人日本介護福祉士会 事務局 (担当:荒内)
東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル5階
TEL:03-5615-9295 FAX:03-5615-9296 MAIL:arauchi@jacw.or.jp

(予定)

〈研修内容〉

令和2年2月1日(土)		講師
9時30分～	開場	
10時00分～ 12時00分	オリエンテーション 【講義・演習】 ファーストステップ研修授業案・レジュメの作成について	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 講師 菊池 健志 氏
12時00分～ 13時00分	昼食 ・ 休憩	
13時00分～ 17時00分	【演習】 模擬講義へ向けたレジュメ作成	

令和2年2月2日(日)		講師
9時30分～	開場	
10時00分～ 12時00分	【講義・演習】 ファーストステップ研修講師としての教授法を学ぶ	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 講師 菊池 健志 氏
12時00分～ 13時00分	昼食 ・ 休憩	
13時00分～ 17時00分	【講義・演習】 ファーストステップ研修講師としての教授法を学ぶ	

令和2年2月3日(月)		講師
9時00分	開場	
9時30分～ 12時30分	【講義・演習】 模擬講義及び評価・講評	神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 講師 菊池 健志 氏
12時30分～ 13時30分	昼食 ・ 休憩	
13時30分～ 16時30分	【講義・演習】 模擬講義及び評価・講評	

※各科目では、適宜10分程度の休憩がございます。

※プログラムは講師の都合により変更することがあります。あらかじめご了承ください。

令和元年度リーダー研修会（ファーストステップ研修講師養成研修）
受講申込書

申込日 月 日

ふりがな		会員番号	
氏名		男・女	S・H 年 月 日生
リーダー研修（前期） 講師養成特別講座に ついて	1. 受講したことがある（ 年度 修了） 2. 今年度受講予定		
ファーストステップ 研修について	1. 受講したことがある、又は現在受講している 2. 講師又は助言者を担当した（科目名： ）		
都道府県または行政 主催研修の教授歴	主催団体名（ ） 教授科目名（ ）		
研修券	使用する	使用しない	_____円分

連絡先(受講通知送付先)	自宅 ・ 勤務先	TEL
住所〒		FAX
携帯	Eメール (携帯不可)	
勤務先名称		
職種	役職	

※ 記入漏れのないようご記入下さい。

※ お申し込みは日本介護福祉士会までお願いいたします。

（本研修に関する問い合わせ先）

公益社団法人日本介護福祉士会事務局 東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル 5階

TEL 03-5615-9295 FAX 03-5615-9296 E-mail arauchi@jaccw.or.jp（荒内）

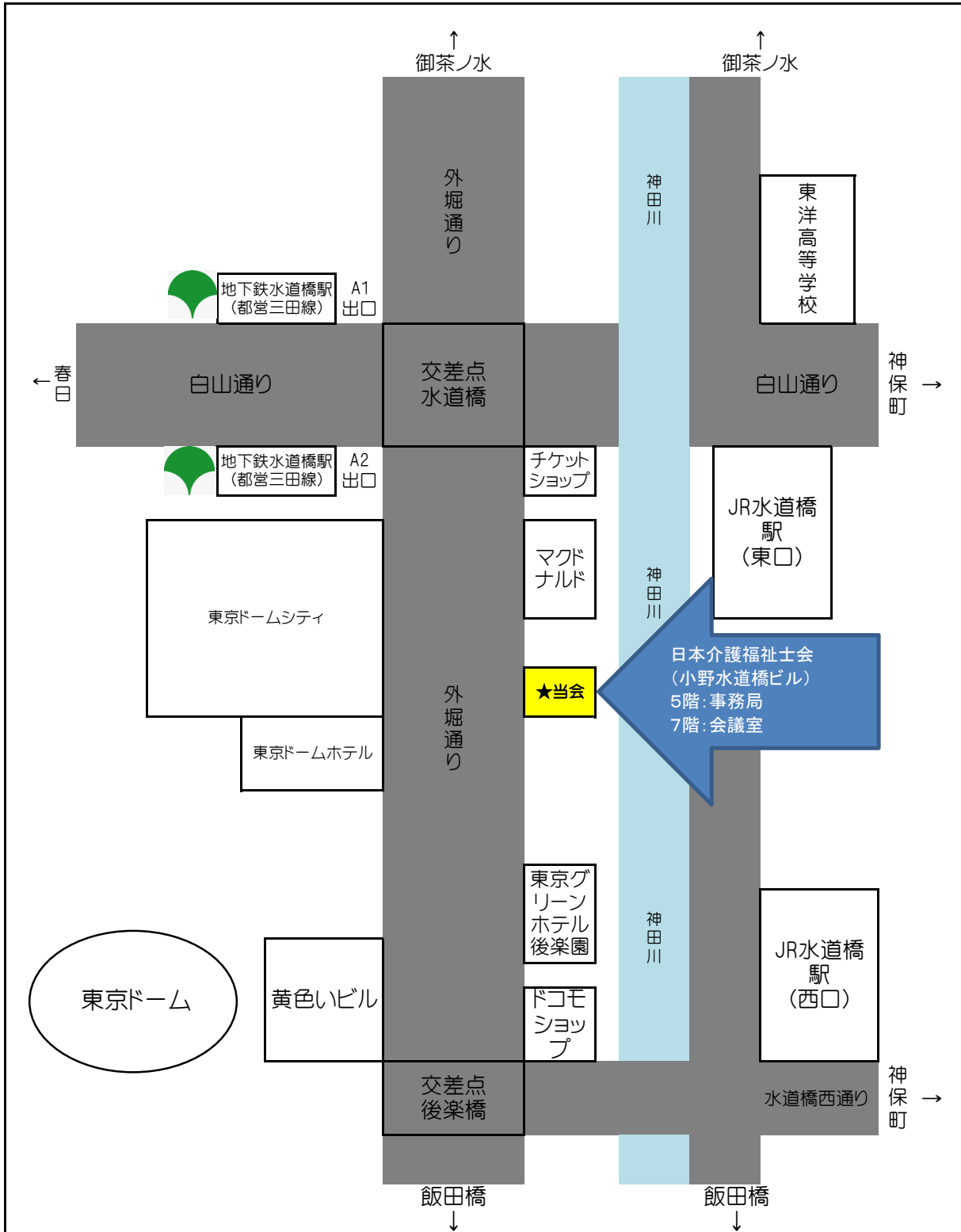
お申し込みは日本介護福祉士会まで

締切：令和元年12月20日(金)

公益社団法人日本介護福祉士会事務局所在地

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-13
小野水道橋ビル5階・7階

電話： 03-5615-9295 FAX： 03-5615-9296



★ JR中央・総武線「水道橋駅」下車 東口徒歩1分(西口徒歩3分) ★ 都営三田線「水道橋」下車 A2出口 徒歩1分

(別添様式1)

科目授業案様式例

○領域名：_____ 科目名：_____

1. 到達目標（行動目標）

到達目標（行動目標）	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄

2. 修了時の評価ポイント（評価内容・基準と方法）

3. 具体的な展開計画

①具体的な展開計画

②使用する教材

③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

(別添様式1)

4. 講義・演習の展開

時間	テーマ（展開）・ 大項目	講義・解説のポイント・（中小項目）、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	ガイドライン 該当番号

5. 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法

(別添様式：記載留意事項)

本様式例を参考に記入してください(受講者に提示することも意図して、要領を作成した者でも可)

科目授業案様式例

様式は例示であり、既存のフォームによって必要事項が記載されていれば様式は問わない(ただしA4であること)

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

○領域名： _____ 科目名： _____

1. 到達目標 (行動目標)

※一日ないしは1科目ごとに作成する。時限の区切りにそって具体的な展開案を記載する。

到達目標 (行動目標)	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄
<p>ガイドラインの行動目標を踏まえ、さらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2~3項目程度)</p> <p>例) 豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。</p>	

2. 修了時の評価ポイント (評価内容・基準と方法)

受講者の学習効果について、ガイドラインのどの評価ポイントに対応し、それをどのような評価方法で評価するか。ガイドラインの評価ポイントをさらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2~3項目程度)。具体的な設問として提示してもよい。

3. 具体的な展開計画

当該科目の具体的な展開計画(概要)を記入してください。

①具体的な展開計画

②使用する教材

③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

4. 講義・演習の展開

下記の記載様式は一例であり、研修の特性にあわせて適宜工夫されてよい

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

時間	テーマ（展開）・大項目	講義・解説のポイント・（中小項目）、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄
<p>大まかなタイムスケジュールを書く</p>	<p>講義・演習のテーマ・流れを書く 例) 介護におけるコミュニケーションの理解</p>	<p>①講義・解説のポイントとして受講生に理解させるべきこと、②演習の場合はどのような演習を行うかを書く</p> <p>例) 介護におけるコミュニケーションのポイントとして〇〇、〇〇、〇〇があることを説明する or 理解させる。</p>		

5. 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法